

第3章 基本構想

[1] 基本的な考え方

「小水力発電開発基本構想」は、「中津川市環境基本計画」および「地球温暖化対策地域推進計画」を踏まえつつ、地域の再生可能エネルギーを活用した分散型エネルギー供給・利用システムによる「エネルギーの地産地消」の一つの方策として、小水力発電に関する取り組みの方向性と進め方について市民の方々と共にまとめるものです。

また、中津川市環境基本計画で示された、市民・事業者・市の各主体が「自助力」「互助力」「公助力」により、環境基本計画の着実な推進と目標実現を図る「全市環境 ISO 運動」を推進するためには、小水力発電開発に関する認識、理解を市民の方々と共有すると共に、中津川市の新たな地域資産としての小水力発電施設について、候補地の選定、施設の設置、共用後の維持管理等を含めて、市民の方々と一体となって推進していくことが大切であり、「小水力発電開発基本構想」はそのための指針となります。

なお、小水力発電の用途は第2章で述べたように、開発する地域の特徴にあったエネルギー利用が可能です。

[2] 基本構想の位置づけ

小水力発電開発は、地域の気候風土や地理的特性、生活環境等を踏まえながら進めていくことが重要であり、その意味で地方公共団体の果たす役割が大きく、地元主導の積極的な開発推進が求められています。また、政府が進める「地域新エネルギー等導入促進事業」や「 hidrovalley 計画開発促進調査」においても、地方公共団体は、水力開発を地域のエネルギー整備計画（地域新エネルギービジョン策定等事業）に盛り込むことが求められており、「小水力発電開発基本構想」はその基礎となる重要な位置づけを持っています。

中津川市における今後の小水力発電開発に関する施策は、「小水力発電開発基本構想」に基づいて行うこととなります。